

#### 4. 各教科における課題（実態）と改善策

##### ◎ 国語科

##### 大田区の学習効果測定の実態と考察

概ね全ての観点において、目標値を上回っている。

しかしながら、4年は「国語への関心・意欲・態度」（－2. 1 P）と「書く能力」（－4. 4 P）、6年は「読む能力」（－1. 2 P）

で、目標値を下回った。

具体的に見てみると、4年の「書く能力」では、「指定された長さで文章を書くことができる」と「自分の意見とその理由を区別して書くことができる」に誤答が多い。

普段の授業時に長さを指定して書く機会が少ないことが原因と考えられる。また、事実と意見の判別ができない児童が多いために、区別して書くことができないと思われる。

6年の「読む能力」では、「登場人物の様子を読み取ることができる」や「段落のまとまりを考えながら読み取ることができる」に誤答が多い。

とくに説明文の構成を部分的に考える授業があまり行われていないことが、この結果を招いていると考える。

##### 低学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>○おおむね書いたり読んだり話したりできますが、一部意欲的に活動に取り組めない児童がいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いを表現することが苦手な児童がいます。</li> <li>○大事なことを落とさないようにしながら、話を聞くことができます。</li> <li>○自信のなさから、声が小さい傾向にあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書きたい気持ちはありますが、言葉で表現する力が不足する傾向にあります。</li> <li>○題材を自分で見つけるのに時間かかる児童がいます。</li> <li>○自分の書いたものを見返す習慣がついていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本を読むのが好きな児童が多いです。</li> <li>○読み間違える子もいますが、意欲的に音読ができます。</li> <li>○書いてあることを基に音読を工夫できます。</li> <li>○言葉に着目して考える力が不足している児童がいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長音や促音・撥音、助詞の使い方の定着が課題です。</li> <li>○ひらがなや漢字の読み書きに意欲的ですが、丁寧に書かない児童もおり、定着度が課題です。</li> </ul>

##### 改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習方法を丁寧に教えたり、ヒントを与えたりして児童のペースで理解できるようにします。</li> <li>○子供の意欲が高まるように、課題の提示を工夫しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習形態を工夫したり、教師が話し方を工夫したり、落ち着いて話を聞ける環境を作ったりします。</li> <li>○発言をしたらお互いに認め合う反応を返し、児童の自信や安心感を高めます。</li> <li>○ペア・グループ・全体など、話す場面を多くし、話型などを活用して、場に応じた聞き方・話し方を指導していきます。</li> <li>○声の大きさ表を作成し、視覚的に場面にあった声の大きさが理解できるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短作文や一行日記など短い文章から書く経験をさせていきます。</li> <li>○視写を取り入れ、語彙を豊かにしていきます。</li> <li>○日常の出来事の中から題材を探させ、出来事を順序よく、短冊や付箋紙を使って思い出させ書く指導をします。</li> <li>○すぐれた児童作品を多数紹介していきます。</li> <li>○自分の書いたものを声に出して読ませ、見直しの習慣をつけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本の紹介や読み聞かせなどを通じて、多くの本を読ませています。</li> <li>○発声の方法や口の動かし方など、音読の指導をより丁寧にしていきます。</li> <li>○人物の心情をふきだしに表したり動作化したりして、言葉からイメージをふくらませる方法を指導していきます。</li> <li>○主語と述語の結びつきをとらえられるよう指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視写、聴写や友だちの作品を読み合う機会を多くします。</li> <li>○漢字の読み書きの時間を十分にとり、とめ、はね、はらいに気を付けて書く練習をさせます。</li> <li>○楽しく漢字を覚えられる指導の工夫をします。</li> <li>○文字を書く際に、鉛筆の持ち方を確認し習得させるようにします。</li> </ul>
---	---	---	--	---

中学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
<p>○音読に意欲的に取り組んでいます。</p> <p>○表現することに自信のない児童が多くみられます。</p>	<p>○話の中心に気を付けながら聞くことができます。</p> <p>○根拠をもとに理由や主張を言うことに意識的に取り組んでいます。</p> <p>○話すことには個人差があり、自分の考えをもてない児童や言えない児童が見られます。</p>	<p>○「はじめ・なか・おわり」を意識して書こうとしています。</p> <p>○「楽しかった」「うれしかった」など限られた言葉で気持ちを表す傾向があり、より具体的に書く力を育てることが課題です。</p> <p>○指定された長さで文章を書くことに苦手意識がある児童が見られます。</p>	<p>○文章に直接書かれている内容については、読み取ることができています。段落相互の関係に気を付けて読むことや人物の心情とその変化をとらえることについては課題です。</p> <p>○図書の時間やすきま時間に、読書に親しみ、集中して取り組んでいます。</p>	<p>○分からない語を積極的に辞書で引いています。</p> <p>○修飾・被修飾といった語と語の関係の理解に課題があります。</p> <p>○習った漢字を正しく日常的に使えるよう定着させることが課題です。</p> <p>○ローマ字を書いたり読んだりすることが課題です。</p>

改善策

<p>○二人組で話す、グループで話す、学級全員の前で話すなど形態を工夫し、段階を踏んで指導していきます。</p> <p>○筆者の考えや作者の伝えたいことに対する自分の考えを個々にもたせる時間を授業で設定します。支援が必要な子に対しては例を示します。</p>	<p>○時と場に応じて、適切な言葉を使えるよう指導を工夫します。</p> <p>○児童がよい聞き手、話し手になるために、話し手を見る、うなづく、間をおいて話すなど、具体的な指導をします。</p> <p>○自分の考えに対して適切、妥当な理由が話せるように段階的に指導していきます。</p>	<p>○ノートに自分の考えを書くという活動を繰り返し行うことで、書くことへの抵抗をなくします。</p> <p>○書いた文章を推敲したり、みんなで読み合ったりするなど、技能を共有する機会を多くします。</p> <p>○「楽しい」「嬉しい」という言葉だけで気持ちを表すのではなく、感情表現の仕方を指導します。</p> <p>○手紙文、新聞、詩、日記など色々な文種を取り扱い、決められた分量や時間など様々な条件のもとで書く学習活動を設定します。</p>	<p>○文章の大事な言葉に線を引いたり、指示語や接続語に注意して文章の構成図を書いたりする活動を重視します。その活動によって段落相互の関係に気を付けて読むことができるようにします。</p> <p>○文学的文章では、人物像や人物と人物の関係を、人物関係図や人物図鑑などを書くことによって、読み取る力をつけていきます。</p>	<p>○ノートをとったり、作文などで文章を書いたりした際に習った漢字を使っているか、間違いがないかなどを読み直す習慣をつけ、正しく使えるように指導します。</p> <p>○語と語のつながりを、短作文を通して身につけていきます。</p> <p>○ローマ字の読み書きを日常的に行う環境をつくれます。</p>
--	---	---	---	---

高学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
<p>○人前で発表する事を躊躇してしまう児童がいます。</p> <p>○書くことに抵抗感をもつ児童がいます。</p> <p>○授業に意欲的に取り組むことのできない児童がいます。</p>	<p>○話の内容を聞き取る力は付いていますが、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝える力がやや弱いです。</p>	<p>○自分の伝えたい事柄を正確に文章にすることができる児童もいますが、苦手とする児童も見られます。わかりやすく伝える力をつけさせることが課題です。</p>	<p>○物語文では、場面の設定や人物像などを正確に捉えることはよくできています。説明文では、内容や要旨を解釈したり批評したりする力に課題があります。</p> <p>○優れた叙述を味わいながら読む経験が不足しています。</p>	<p>○学習した漢字をさらに定着させることが課題です。</p> <p>○語彙の不足や敬語の不適切な言い回しについては、丁寧な指導が必要です。</p>

改善策

<p>○対話を継続的に行い、話したり聞いたりする機会を増やしていきます。</p> <p>○子どもが書きやすい課題を設定するなど、抵抗感を減らす工夫をしていきます。</p> <p>○ガイドブックや新聞の作成などの言語活動に取り組みせていきます。</p>	<p>○聞くことに対して効果的なメモのとり方を習得させていきます。</p> <p>○スピーチメモの工夫をし、指導に活かしていきます。</p> <p>○5W1Hを意識して話ができるように、授業中に様々な表現する場面を設定していきます。（スピーチ、感想発表など）</p>	<p>○短い文章から書かせ、だんだんと文章を長く書く機会を多くもたせます。伝えたいことをわかりやすく、効果的に伝えられるよう指導していきます。</p> <p>○文章全体の効果的な組み立てについて意識させます。</p> <p>○自他の文章を紹介し合い、よい表現などを学び合わせます。</p> <p>○さまざまな文種（報告書・説明文など）を書く機会を設け、書き方を丁寧に指導していきます。</p>	<p>○朝読書を継続していきます。</p> <p>○自分の考えを広げ、深めるための読書活動を国語教材と関連させていきます。</p> <p>○筆者の説明の仕方や考えなどを適切にとらえた後、表現の良さや筆者の考えなどを評価させるようにします。</p> <p>○新聞記事を要約したり感想、意見を書かせたりする活動を多く取り入れるようにします。</p> <p>○音読や視写の指導を充実させていきます。</p>	<p>○ノートや漢字ドリルから個人のつまずきを把握し、漢字を使う習慣を図っていきます。</p> <p>○辞書を使う習慣を付けさせます。</p> <p>○日常会話で使われる敬語に慣れ親しめるよう指導します。</p> <p>○文学作品や説明文などを視写させることを通して、語彙を増やしていきます。</p> <p>○楽しく言語事項を習得できるよう、ゲームなどの機会を増やします。</p>
---	---	--	--	--

## ◎ 算数科

### 区学習効果測定の実態と考察

- ・どの学年も全領域で目標値とほぼ同程度か目標値を越えている。
- ・数学的な考え方においては、どの学年も区の平均正答率を上回っている。
- ・標準スコアは年々下がってきている。
- ・学年が上がるにつれて、正答率が低くなる傾向にある。

### 低学年の分析・課題（実態）

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>○ 計算や測定を楽しみながら、意欲的に取り組める児童が多くみられます。</p> <p>○ 問題をよく読まないで、立式してしまう児童が見られます。</p>	<p>○ 立式ができて、計算の考え方を説明できるようにすることは課題です。</p>	<p>○ 定規の使い方がまだしっかり身に付いておらず、真っ直ぐに線が引けなかったり、正確に点と点を結べない児童がいます。</p> <p>○ たし算やひき算の形式的な方法はほぼ定着しています。しかし、繰り上がりの数を書き忘れて間違えてしまう児童がいます。</p>	<p>○ 長さやかさ、時間などの目盛りの読み方の理解が不十分です。</p> <p>○ 繰り下がりの意味が理解できていないで、繰り下がる必要がないのに繰り下げてしまう児童がいます。</p>
↓	↓	改善策	↓
<p>○ 話し合ったり、考えを出し合ったりする授業を通して、みんなで学びあう楽しさや喜びを実感させていきます。</p> <p>○ わかっている数・聞かれていることを確認して問題を解く習慣をつけさせます。</p>	<p>○ とおり同士で説明させるなどして、計算の方法を、順序立てて説明できるようにする力を身に付けさせていきます。</p>	<p>○ 測定器具の使い方の習熟をはかります。</p> <p>○ ノート指導を通し、繰り上がりや繰り下がりなどをきちんと書かせることで、正確な計算の方法を身に付けさせます。</p>	<p>○ 日常生活の中でも目盛りを読む場を設け、目盛りの読み方が身に付くようにしていきます。</p> <p>○ 繰り返し練習させる中で、どんな場合に繰り下がるのか理解させていきます。</p>

中学年の分析・課題（実態）

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>○計算や測定などに意欲的に取り組める児童が多くみられます。</p> <p>○計算の丁寧さや正確さを欠き、意欲的に取り組むことができない児童もいます。</p>	<p>○自分の考えを論理的に説明する力をつけることがこれからの課題です。</p>	<p>○計算の仕方は理解できていますが、簡単な間違いをすることもあります。</p> <p>○四角形、三角形、円といった図形の弁別や定義の理解を深めることが課題です。</p>	<p>○「かさ」「時間」「長さ」などの量感が身につけておらず、日常生活に生かすことが十分とは言えません。</p> <p>○計算の順序の理解が不十分な児童がいます。</p>

↓

↓

改善策

↓

↓

<p>○児童が学習に対して必要感や意欲をもって取り組むことができるような、授業作りをしていきます。</p> <p>○見直しをする慎重な態度が身に付くよう声かけをしていきます。</p>	<p>○学習したことをもとにして、様々な考えを論理的に発表する場面を設けていきます。</p> <p>○授業中に考える時間と、発表し説明する場を確保します。</p> <p>○友達との対話を多く取り入れ、自分の考えを変えたり深めたり広めたりできるようにしたり、全体での学習のあとに自分の考えを振り返る時間を設けたりします。</p>	<p>○筆算でくりあがりの数を書いたり、位を区切ったりし、学校で統一しているルールをノート指導により徹底させます。</p> <p>○図形を見た目の直感だけに頼らず、角度や辺の長さに着目して測ったり、折って合わせたりと実際に確かめていく活動を取り入れます。</p>	<p>○角度、重さ、長さなど身近なものとの量を結びつけて考えさせる活動や単位量の大きさを実感させる活動を取り入れ、量感を育てます。</p> <p>○補習教室を活用し定着率の向上を図ります。</p>
---	---	---	--

高学年の分析・課題（実態）

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>○課題に集中して取り組む態度を身につけていくことが課題です。</p> <p>○理解や習熟の程度に個人差が見られます。その差を小さくすることが課題です。</p>	<p>○考えたことをわかるように伝えることがこれからの課題です。</p> <p>○文章を読み取り、思考を深めていく必要があります。</p>	<p>○学習後ある程度期間をおいて行う学期末テストでは十分にできないことがあります。</p> <p>○小数の計算で小数点の移動がきちんとできない児童がいます。</p>	<p>○分数や小数の計算、割合の理解の定着化を十分に図っていくことが課題です。</p>

↓

↓

改善策

↓

↓

<p>○学習課題に集中できるような授業展開を考えていきます。</p> <p>○レディネステストや習熟度別・学習のグループ編成の方法等で工夫し、個に合わせた学習活動を充実させていきます。</p>	<p>○自分の考えをノートにまとめたり発表したりする機会を増やしていきます。</p> <p>○数多くの問題に取り組む中で考え、解決する喜びを実感させていきます。</p>	<p>○補習教室を活用し繰り返し行う事で定着を図ります。</p> <p>○ノートの取り方をきちんとさせ、位をそろえて書かせるよう指導していきます。</p>	<p>○数直線を書くことを習慣づけ、数と数との関係が分かるようにしていきます。</p> <p>○理解が不十分な児童への個別指導を心がけていきます。</p>
--	--	---	---

◎ 理科

大田区の学習効果測定の実態と考察

学年によっても傾向が異なるが、今回は、授業の成果が現れていると考えられる5年生を分析し、全ての学年の授業改善につなげていきたい。現5年生は全項目において区平均を上回っている。

中でも、実験の単元である「物のあたままり方」は15ポイント、「物の体積と力」、「物の体積と温度」では10ポイント都平均よりも上回っている。これは、児童が主体的に問題作りをし、実験結果からわかることをモデル図で表したり、実験結果をもとにペットボトルロケットを作ろうなどさらに活用実験を重ねた結果、知識が定着し、生活に根付いたものとなっていると考えられる。

しかし、観察単元である「1年間の植物の成長」「1年間の動物のようす」「天気の様子と気温」では、少しずつ都平均を下回った。

一年間の変化を見通しをもちながら観察する意識をもたせることが課題だと考える。

中学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>○生き物の飼育と植物の栽培に、楽しみながら意欲的に取り組んでいます。</li> <li>○1年間を通しての自然の変化を問われた時に、結びつかない児童が多くいます。</li> <li>○実験や観察など、グループで手分けをしながら主体的に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題をしっかり捉えられている児童は、得られた事象からきちんと結論を出すことができている。</li> <li>○実験から知識を得ることはできますが、そこで止まってしまい、自分の言葉で説明することができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察や実験に対しては興味をもって正しい方法で積極的に取り組んでいます。</li> <li>○実験や観察は楽しく意欲的にできますが、それが知識として定着していない場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書でとりあげられている内容についてはよく理解できていますが、生活と結び付けて考えられる児童が少ないです。</li> <li>○感覚的な言葉や、理科用語が示す状態の理解が浅く、定着率はよくありません。</li> </ul>

改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>○隣接する平和の森公園を有効的に利用し、さらに関心・意欲・態度を育てます。</li> <li>○年間を通して観察する機会を設定すると同時に、教科書や視聴覚教材を活用して、四季の変化と結びつけて理解できるようにしていきます。</li> <li>○楽しく意欲的に授業に取り組めるよう、実験や観察の工夫の向上に努めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の課題を確実に捉えさせ、小グループの活動を取り入れ自分の意見を発表したり、イメージ図をかいたり、友だちの意見を聞いたりすることで、より深く考えさせるようにします。</li> <li>○観察・実験の前には「予想」をたてさせ、理由もまとめさせます。</li> <li>○実験からわかったことをモデル図などに表し、説明する時間を設定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予想をしっかりと立てた上で視点をはっきりとをもって実験を実施し、発見したこと、気が付いたことを発表させる機会を増やします。</li> <li>○実験の方法や結果を十分に把握させるために、教科書を活用します。</li> <li>○観察・実験を行う時間を十分に設定したり、教材を工夫したりして、一人一人が自分の経験として実験結果を捉えられるように計画的な指導を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定着させたい理科の用語を板書・掲示し、日常的に目に触れるようにしたり、学習の中で振り返ったりすることができるようにします。</li> <li>○理科の用語を使ってノートをまとめることで、学習を振り返ることができるようにします。</li> <li>○朝学習の時間を利用し、学習プリントを繰り返し行うことで知識の定着を図ります。</li> </ul>
--	---	--	---

高学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能表現	知識・理解
<p>○理科の学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいます。</p> <p>○進んで知っていることを発表しています。</p> <p>○実験が好きで、自分たちの問題解決に向けて、主体的に取り組んでいます。</p> <p>○自然事象に興味をもてず、苦手意識をもっている児童もいます。</p>	<p>○原因と結果の関係について考えが深まらない場合があります。</p> <p>○実験や観察の「結果」から「考察」が導き出せないことがあります。</p> <p>○学習した内容を自分なりにまとめることはできませんが、重要な点を分かりやすく表現することは課題です。</p>	<p>○実験・観察はグループで互いに教え合い協力してできますが、条件制御を行う場面では混乱してしまう児童がいます。</p> <p>○観察・実験器具の使い方の理解が不十分なものがあります。</p>	<p>○知識が定着している単元と、そうでない単元があります。</p> <p>○理解した内容を、生活と結び付けて考えられる児童が少ないです。</p> <p>○塾などで先行学習を行っている児童と授業で初めて学ぶ児童との知識の差が大きいです。</p>

改善策

<p>○自然現象の不思議さ・神秘さを感じさせ、意欲をさらに引き出す、導入、問題作りの工夫をしています。</p> <p>○テレビやパソコンなどの視聴覚教材、隣接する平和の森公園を利用し、生活と結び付けて関心・意欲・態度を広げます。</p> <p>○やりたい！知りたい！という追求心、児童の気付き、つぶやきを大切にしながら授業を進めていきます。</p>	<p>○一人一人が疑問や予想を持ち、自分の立場を明確にして実験や観察に取り組めるようにします。</p> <p>○「結果」と「考察」が違うことを常に意識させて授業や実験を進めます。</p> <p>○わかりやすく工夫してまとめられているノートを紹介します。</p> <p>○モデル図などを活用しながら児童に説明させることで、学習内容の理解が深められるようにします。</p>	<p>○条件を変えて行う実験では、条件を明確にし、全員できちんと押さえてから実験を行うようにします。</p> <p>○学習前に観察・実験器具の使い方について視聴覚教材等で確認し、観察・実験を正しい手順で行うようにします。</p> <p>○継続した観察が根気強くできるよう視点を明確にしていきます。</p> <p>○班で1実験ではなく、2人1実験など、できるだけ多く実験に携われる工夫を行うようにします。</p>	<p>○小グループの活動を取り入れ、友だちの意見を聞くことで、知識・理解を深めます。</p> <p>○理科の学習が自分たちの生活にも繋がっていること、よりよい生活の知恵として生かされていることを実感できるよう、意図的に活用していきます。</p> <p>○朝学習の時間を利用し、学習プリントを繰り返す行うことで知識の定着を図ります。</p>
--	--	---	---



◎社会科

学習効果測定の結果より

- ①地図の見方、読み取り方 ②用語等の知識・理解  
 ③複数の資料を関連付けて読み取る技能 ④調べたことをもとによりよい社会の在り方を考える

中学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループでの調査や発表を積極的に行うことができます。</li> <li>○調べ学習や校外学習後の新聞作りなどに積極的に取り組んでいます。</li> <li>○先人の働きについての関心が低いことが課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料を比較し、関連付けることが課題です。</li> <li>○見学・探検等で調べたことを絵や図を使ってまとめることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の正確な読み取りの力をつけることが課題です。</li> <li>○地図や地図記号を実際に活用できるようにすることが課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会の事象に関わる用語を理解させることが課題です。</li> <li>○都道府県の様子や位置などの知識を定着させることが課題です。</li> </ul>



改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の生活に直接結びつく事柄を教材化したり、校外学習を効果的に行ったりすることで児童の興味や関心を起こさせ、調べたことを文や表、グラフなどにまとめる活動に取り組みさせていきます。</li> <li>○今の田原区の様子と昔の田原区の様子を比較しながら先人の働きについての関心を高めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料の読み取りから予想を立て、課題を解決する学習を取り入れます。</li> <li>○見学では、見学の視点を焦点化して参加させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中に教師が資料の読み方を教え、正確な情報を得る力をつける時間を多く取ります。</li> <li>○地図や地図記号を色々な時間に活用して、触れる時間を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事象に関わる用語はノートや教室掲示などで整理します。用語をキーワードとして活用したまとめを行います。</li> <li>○身近なニュースと都道府県の様子を絡めながら、地図帳を用いた学習を取り入れたり、都道府県を確実に覚えたか定期的に確認したりしていきます。</li> </ul>
--	--	---	---

高学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史や日本の各地域についての関心は高いが、調べ学習には意欲が低いです。</li> <li>○情報産業や工業、環境への関心を高めることが課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会事象から疑問をもち、追究したり、解決したりしようとする意欲をさらにもたせることが課題です。</li> <li>○複数の資料を関連付けて読み取る力を育てることが課題です。</li> <li>○学習したことを自分なりの言葉でまとめることが苦手です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近にある資料集や教科書、地図は効果的に活用しています。</li> <li>○新聞記事、ニュースなどにも広く関心をもたせることが課題です。</li> <li>○複数の資料を比較、関連づけて物事を考える力をつけることが課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業や先人の働きについて自分の生活と関連付けて捉え、理解することが課題です。</li> <li>○獲得した知識を定着させるのが課題です。</li> </ul>



改善策



<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の資料の提示の仕方を工夫したり、児童が興味をもつことのできる教材を開発したりしていきます。</li> <li>○社会科見学、新聞やテレビ・パソコン、本などを活用して、情報産業や工業、環境への関心を高めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べるきっかけや考察を一層重視し、社会的な事柄について考えさせるよう授業を工夫していきます。</li> <li>○複数のグラフや資料から変化や傾向、事実を確実にとらえることのできるように、グラフや資料の読み方を繰り返し練習します。</li> <li>○板書を基にキーワードを提示して、自分なりの学習のまとめを書く活動を取り入れます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の読み方、見方の指導を充実させます。</li> <li>○時事問題を教材化し、新聞記事やニュースに関心を持たせるようにします。</li> <li>○授業で教師が意図的に資料比較の機会を設けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の身近な歴史・風俗・習慣・行事などと自分の生活を関連付けるなど導入を工夫します。</li> <li>○獲得した知識を定着させるために学んだ知識を活かした対話や、自分の言葉や用語でまとめる作業をします。</li> </ul>
---	---	--	---

検証方法

- 関心・意欲・態度→子どもたちの発言を教師がメモしておきます。ノート、成果物等からも検証します。
- 思考・判断・表現→まとめたノート、単元のまとめで作った成果物をもとに行います。
- 技能→テストやレディネステストを実施することで既習学習の知識をどれだけ生かしているか調べます。
- 知識・理解→テストにより単元後にどれだけ知識が身についたか確認します。

## ◎生活

### 低学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
<p>○身近にある物や生き物、昔からある遊びなどに目を向けて関わろうとしている様子が見られます。</p> <p>○身の回りの自然への興味関心が高まっています。しかし、それに関する自分の役割まで目がいかない児童がいます。</p>	<p>○自分が見たり聞いたりしたことを先生や友達、家の人に伝えることができます。</p> <p>○気付いたことや楽しかったことを表現できる児童もいますが、苦手な児童もいます。</p> <p>○思考的気づき、再認識的気づき、生活に生かす気づきを高めることが課題です。</p>	<p>○友だちと一緒に遊んだり行動したりすることが好きです。遊びを通して、友だちのよさに気付けるようになってきています。</p> <p>○自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもつことができない児童がいます。</p> <p>○地域との関わりをもたせることが課題です。</p>

### 改善策

<p>○子どもたちが十分に意欲をもって活動できるようゆったりと時間をとり、関心をさらに広げられるようにしていきます。</p> <p>○探検に行くときや季節遊びをするときには、見る視点を定めるようにします。</p>	<p>○伝える力を伸ばすために自然の中での体験をさらに増やし、遊び方や楽しみ方の工夫について話し合い活動をさせたり、他者に五感を通して分かってもらえるように言葉や絵、体での表現を工夫させたりしていきます。</p> <p>○児童への言葉かけを工夫したり、児童の気づきを整理したりします。</p>	<p>○同学年による活動だけでなく、異学年との交流を増やし、共に活動する楽しさが分かるような体験をさせて友だちのよさに気づけるようにしていきます。</p> <p>○児童同士の交流を増やし、お互いにいいと思ったところを発表し合い認め合う活動をします。</p> <p>○平和の森公園や地域の施設を使った活動を充実させることで、地域との関わりをもつ機会をつくります。</p>
--	--	--

### 検証方法

#### 関心・意欲・態度

- ・興味関心をもっているか児童の活動の様子を観察する。
- ・見る視点が定まっているか生活科カードなどを用いて確認する。

#### 活動や体験についての思考・表現

- ・工夫や気づきを言葉や絵を通じて観察する。

#### 身近な環境や自分についての気づき

- ・児童観察や生活科カードなどを用いて確認する。

# ◎音楽科

## 低学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
○歌を歌ったり、身体表現をしたりすることに興味をもっています。	○拍の流れによって、リズム打ちや楽器の演奏ができます。	○音程が不安定になってしまいう子どもがいます。 ○鍵盤ハーモニカを好んで演奏します。	○音楽を聴くことに、興味関心をもっています。



### 改善策

○朝の会や帰りの会などで、歌ったり、楽しんだりする機会を増やすよう取り組みます。 ○音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てるよう授業を工夫していきます。	○音遊びやリズム打ち、体の動きを伴った活動を通して、音楽の面白さに気付くよう取り組みます。 ○簡単なリズムをつかって表現する活動を増やすよう取り組みます。	○範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり、暗唱したりする活動を取り入れます。 ○今月の歌などレパートリーを増やし、友達の歌声に合わせて歌えるよう取り組みます。 ○身近な楽器に親しみ、音色に気をつけて演奏するよう取り組みます。	○我が国及び諸外国のわらべ歌や遊び歌、行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽、日常生活に関連して情景を思い浮かべやすい楽曲を中心に鑑賞します。 ○感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさに気付くよう取り組みます。
---	--	--	--

## 中学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
○明るく自然な声で歌ったり、リコーダーを吹いたり意欲的に取り組んでいます。	○自分の思いを素直に表現できるようにするのが課題です。	○リコーダーのタンギングや運指などが苦手な児童が増えています。	○演奏形態や音色の違いなど、ジャンルによる曲の特徴をとらえさせていくのが目標です。



### 改善策

○音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てるよう授業を工夫していきます。	○一人一人が様々な楽器演奏を体験し基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るよう取り組みます。 ○お互いの良さを認め、友だちとかかわりながら、より良い表現ができるよう、2人組、グループ、全体などいろいろな学習形態で取り組みます。	○手遊びや、指先を使った活動を短時間ずつ、取り入れていきます。 ○リコーダーの基礎的奏法を一人一人が身に付くように指導していきます。 ○簡単なリズムや旋律をつかって表現する活動に取り組みます。	○和楽器を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲に取り組みます。 ○聴いて想像したこと、感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くよう取り組みます。
---	---	--	--

## 高学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
○ 自主的に音楽に取り組む姿勢が見られます。	○地域の方々の協力を得て、実技体験を行い、箏・三味線など日本の音楽にも関心をもたせ、理解を深めています。	○一人一人の音楽に対する興味や技能に差が出てきています。どの子も自信をもって表現できるようにするのが課題です。	○様々な音楽の特徴を比較して聴くことができます。



### 改善策

○創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。 ○「かかわり合う活動の工夫」を通して望ましい児童相互のかかわりを生み出すように取り組みます。	○実技体験を継続していき、日本の音楽と諸外国の音楽の表現の違いをさらに感じ取らせるように取り組みます。 ○旋律の流れを和音にして聴かせ、和声の変化を感じ取って表現できるよう取り組みます。 ○音楽をつくって表現する活動を継続的にを行います。	○アンサンブル演奏やグループ活動を通して、個性を認め、音楽をつくり上げる楽しさを味わわせていくよう取り組みます。 ○音符・休符・音楽にかかわる用語について、活動を通して理解できるよう取り組みます。 ○各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏するよう取り組みます。	○様々な形態の音楽を鑑賞させ、広い分野の音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにします。 ○感じ取った音楽の特徴や文化とのかかわりを言語化して、表現することができるよう取り組みます。
---	---	--	--

## ◎ 図画工作科

### 低学年の分析・課題（実態）

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○毎週の授業を楽しみにしています。作ることが大好きで意欲的に取り組んでいます。	○自分の思いを表そうと、楽しく制作しています。	○表現したいことに合わせて、材料を用意することができますが、材料・用具に対する経験はまだ少ないです。	○一生懸命取り組んできた作品が完成したことだけで満足してしまうので、友達の作品のよいところを見つける振り返りをすることが大切です。

### 改善策

○課題に即した作品鑑賞を通して、イメージを言語化するなどして、表現することの喜びをさらに味わわせていきます。 具体的手立て ・友達の作品が何に見えるなど、形の見取りを発表し合わせます。	○のびのびと自分の思いを表現できるように、題材を工夫していきます。 具体的手立て ・形の違う紙を集めるなど素材の選択の幅を広げていきます。	○思い通りに表現できるように、はさみ・のり・カッターなど多様な用具や、素材の使いこなしができるようにさせていきます。 具体的手立て ・用途に合わせて、種類の違う接着剤や画材、刃物の体験をさせます。	○自分の作品や友達の作品を鑑賞し、友達と話し合っ、その良さを味わったり、感じ合ったりさせていきます。 具体的手立て ・友人と話し合わせます。 ・「いいねカード」への記入をさせます。
--	---	--	---

### 中学年の分析・課題（実態）

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○とても意欲的に取り組んでいます。楽しみに目が輝いています。	○自分の思いにこだわりをもち、表現の仕方や発想に多様な展開が見られます。	○金槌・鋸など、新しい用具や機械に触れ、意欲的に取り組んでいます。	○自分の作りたいままに作り、満足しています。

### 改善策

○関心のわきあがる題材設定と、題材に即した作品鑑賞を通して、イメージを言語化し、自分らしく表現することの喜びをさらに味わわせます。 具体的手立て ・自他の作品の鑑賞を通して「自分の思いカード」を作成するなどの言語化をはかり、表現に見通しを立てて活動させます。	○のびのびと自分の思いを表現できるように、題材の設定を工夫していきます。 具体的手立て ・「新メニュー！お勧めパフェ」など、イメージ化をはかりやすい題材名の工夫をします。 ・造形感覚を育くむための題材「音を形や色に」を行います。	○用具や機械が自在に使いこなせるように、十分な時間の設定を行い、技能の向上を図っていきます。 具体的手立て ・用途に合わせて、種類の違う接着剤や画材、工具の体験をさせていきます。	○友だちや自分の作品を振り返らせ、言語化を通して、次の学習につながっていく評価をさせていきます。 具体的手立て ・友人と話し合いをします。 ・「いいところ見つけカード」に記入させます。
---	---	---	---

## 高学年の分析・課題（実態）

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○毎週の授業を楽しみながら、意欲的に取り組んでいます。さらに自分らしさを見つめ、造形表現スタイルを探求しています。	○自分のアイデアをもとに独自のスタイルを意識しながら取り組んでいます。	○ミシン糸鋸・電動ドリル・ドライバーなど新しい道具に慣れ、目的に応じて素材や用具を使っています。 ○版画や水墨画に取り組んでいます。	○自他の思いや表現方法について観察し発表しています。



### 改善策

<p>○さらに意欲的に制作ができるよう、題材や他教科に関連した作品鑑賞を通して、表現意欲を向上させ、自分のスタイルの探求をさせていきます。</p> <p>具体的手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみのある作品の鑑賞と、ワークシートに記入し言語化をはかり、見通しを立てて制作させます。</li> </ul>	<p>○さらに自分の表現スタイルが意識できるよう、課題の中に子供たちの発想を刺激する条件を設定し、自分のアイデアが表現できるようにします。</p> <p>具体的手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「名探偵が推理する！ 広重・江戸の風情」作品の中から、独自の解釈を引き出させます。</li> </ul>	<p>○目的に応じて、習得した技能が応用できるよう課題を設定します。</p> <p>具体的手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途に合わせて、種類の違う接着剤や画材、工具の体験をさせます。</li> </ul> <p>○ステンシル版画、彫り進み版画、水墨画など、さらに幅広い技法に親しませます。</p>	<p>○芸術作品や自分たちの作品を振り返らせ、言語化し共有することを通して、次の学習に生かせる評価をさせていきます。</p> <p>具体的手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広重・江戸の風情」鑑賞を通して、季節・時間・音などを作品の表現の中から観察・推理し、ワークシートに記入させます。</li> </ul> <p>○国立近代美術館の教育普及担当学芸員と連携し、美術館鑑賞をさせます。</p>
--	---	---	---

# ◎ 体育科

## 低学年の分析・課題（実態）

運動や健康、安全への 関心・意欲・態度	運動や健康、安全についての 思考・判断	運動の技能
<p>○運動が好きな児童が多く、体育の授業に進んで取り組んでいます。</p> <p>○自分たちで整列して、学習を始める準備ができます。また、跳び箱やマットなどの道具を友達と協力して安全に片付けています。</p>	<p>○友達と楽しく運動して、ゲームや競走（争）に参加することができます。</p> <p>○グループの友達と話をしたり、遊び方を工夫したりして、運動に取り組んでいます。</p>	<p>○課題に対して、正確に体を動かすことができる児童が多いです。</p> <p>○体力テストの結果より、握力や上体起こしなどを中心に、多くの種目で区・都の平均を下回っています。</p>



### 改善策

<p>○友達と関わる場面を増やし、運動の楽しさをより感じられるように工夫します。</p> <p>○安全に楽しく運動できるように、準備や片付け、活動の約束などを視覚的に分かるような資料を示し、意識して取り組むことができるようにします。</p>	<p>○楽しんで取り組めるゲームの約束などを考えたり、話し合ったりすることで、工夫して運動に取り組めるようにします。</p> <p>○具体的な助言をしたり、友達の見本や手本を示したりすることで、よい動きを見付けたり、真似たりできるようにします。</p>	<p>○授業中の児童の運動量を確保していきます。</p> <p>○多様な動きや様々な運動を取り入れ、運動経験を増やしていきます。</p> <p>○動きを身に付けたり、上達したりするような場を工夫していきます。</p>
--	--	--



中学年の分析・課題（実態）

運動や健康、安全への 関心・意欲・態度	運動や健康、安全 についての思考・判断	運動の技能	健康、安全についての 知識・理解
<p>○運動に対する意欲は高く、楽しんで運動しています。</p> <p>○用具や器具の準備・片付けにおいて、児童が進んで取り組んでいます。</p> <p>○グループの友達に励ましの声をかけたり、アドバイスをしたりして、仲よく運動しています。</p>	<p>○授業の振り返りを生かし、一人一人がめあてをもって運動に取り組んでいます。</p>	<p>○運動経験の不足している児童が多いです。</p> <p>○器械運動を苦手としている児童は多いですが、スモールステップで学んだり、教師や友達からの助言・支援を重ねたりすることで、徐々に技が上達してきます。</p> <p>○体力テストの結果より、握力や上体起こしなどを中心に、多くの種目で区・都の平均を下回っています。</p>	<p>○学習の直後はよく理解し、意識して生活しています。</p> <p>○学習したことを生かして、継続的に生活の中で実践していくことが課題です。</p>



改善策

<p>○運動の内容を工夫して、児童が意欲をさらに高め、楽しんで学習できるようにします。</p> <p>○運動するときの約束を確認して、より安全に気を付けて取り組めるようにします。</p> <p>○例を示すなど、グループの見合いや教え合いが活発に行われるように働きかけていきます。</p>	<p>○上達までのポイントを段階的に示したり、ポイントを視覚的にとらえることのできるようにしたりすることで、運動や練習の場を選択できるようにしていきます。</p> <p>○学習カードに自分のめあてを記入することで、めあてを意識して運動できるようにします。</p>	<p>○授業中の児童の運動量を確保していきます。</p> <p>○多様な動きや様々な運動を取り入れ、運動経験を増やしていきます。</p> <p>○運動感覚を養う補助運動を授業の始めに取り入れ、主運動につなげていきます。</p> <p>○動きや技が上達するような場を工夫していきます。</p>	<p>○健康で安全な生活について、授業だけでなく、月1回の安全指導や保健指導などを通して意識できるようにします。</p> <p>○具体的で実行可能なめあてを立てることで、継続して実践できるようにします。</p>
---	---	---	---

## 高学年の分析・課題（実態）

運動や健康、安全への 関心・意欲・態度	運動や健康、安全についての思 考・判断	運動の技能	健康、安全についての 知識・理解
<p>○意欲的に運動に取り組んでいる児童が多いです。特にボール運動や陸上運動などの競い合う運動を好みます。</p> <p>○安全に気を付けて運動に取り組むことができます。互いを認め合って運動すること、めあてや課題に対して、友達と協力して解決していく態度を身に付けていくことが課題です。</p>	<p>○運動のポイントを見つけたり、練習方法を選んだりしたり、チームで作戦を考えたりすることで、動きや技の上達、チーム力の向上に取り組んでいます。</p> <p>○自分が大切だと思うことや、授業で確かになったことを学習カードに書きとめ、動きや技の上達に生かしています。</p>	<p>○器械運動は個人差が大きく、苦手とする児童が多く見られます。</p> <p>○体力テストの結果より、握力や上体起こしなどを中心に、多くの種目で区・都の平均を下回っています。</p>	<p>○身近な生活におけるけがの原因やその防止、また、病気の起こり方や予防の方法について、多くの児童が理解しています。知識を生かして、実践していくことが課題です。</p>



### 改 善 策

<p>○例を示すなどし、グループの見合いや教え合いが活発に行われるように働きかけていきます。そして、友達との協力によって、めあてを達成したり、運動の楽しさを実感したりできるように支援します。</p> <p>○経験したことのない動きや運動、これまでのゲームに新しいルールを取り入れるなどして、運動の幅を広げ、意欲を高められるようにします。</p>	<p>○ボール運動では、自分たちが楽しめるようにルールを工夫できるように話し合う時間を確保します。</p> <p>○個々の能力に応じて、適切なめあてを設定しできるように、基準となる目標や動きや技のポイントを示していきます。</p> <p>○学習カードの書き方を再確認して、今後も授業の振り返りの時間を確保します。また、学習カードに自分やチームの動き・課題を記録することで、めあてをもって運動に取り組めるようにしていきます。</p>	<p>○授業中の児童の運動量を確保していきます。</p> <p>○授業始めのウォーミングアップにおいて、主運動につながる様々な運動を取り入れ、主運動への抵抗をなくしていきます。</p> <p>○器械運動において、技が上達できるように、スモールステップで学べる運動の場を用意したり、指導方法や学習カードを工夫したりします。</p>	<p>○体育の授業のみでなく、月1回の安全指導や保健指導などを通して、日常生活におけるけがや病気の予防について、クラスで話し合う時間を取り入れ、生活に生かせるようにしていきます。</p>
--	---	--	---

◎ 家庭科

高学年の分析・課題（実態）

関心・意欲・態度	創意工夫	生活の技能	知識・理解
<p>○自分や家族の生活に関心を持ち、皆が快適に過ごせるような環境作り、調理実習や裁縫、洗濯、などの実践的・体験的活動を積極的に行っています。</p> <p>○粘り強く学習を進めることができますが、裁縫、調理などの細かい作業や時間がかかる活動などで、見通しをもって進めることが課題です。</p>	<p>○住まいの快適な環境作り、季節にあった着衣、栄養のバランスを考えた食事など、習得した家庭生活についての知識や技能を活かして、生活を見直し改善しようとする意識を持ち始めています。</p> <p>○家庭での仕事、手伝い、できる料理などの面で、生活に関わろうとする姿勢が見られます。</p>	<p>○食材や目的に応じた調理の仕方、様々な縫い方など、基礎的な技能を習得する学習では、生活体験の違いにより個人差が多く見られます。</p> <p>○調理道具やミシンなどの道具の使い方や手順については、教師の話を真剣に聞き、安全に配慮しながら活動することができます。</p>	<p>○家庭生活に必要な知識を習得し、家族の為に自分のできることを考え、実践する姿が見られます。</p> <p>○家庭生活が、身近な人々の関わりで成り立っていることや、互いに協力し助け合っていく必要があることに気づき始めています。</p>



改善策

<p>○家庭での自分の役割を自覚させ、それぞれの課題に主体的に関わろうとする意欲をもたせます。</p> <p>○実習を通して環境問題に関心をもち、自分の生活の中でできることを実践していこうとする意欲を育てます。</p> <p>○作業計画を立てたり、作業学習を十分に確保したりと、技能の向上を図り、家庭でも意欲的に取り組めるようにします。</p>	<p>○家庭生活について自ら見直し、自分で課題を見つけられるようワークシートを工夫し、自分なりの方法で実践できるようにします。</p> <p>○家庭での実践へつなげるような場面でいかせるのか振り返ります。</p>	<p>○裁縫やミシンの使い方などの技能をグループ学習や保護者の協力を得て最後までできるようにします。また、繰り返し活動する場面をつくり、技能の定着を図ります。</p> <p>○計画・実習・発表・相互評価のプロセスを大切に、基礎的な技能を少しずつステップアップさせます。</p>	<p>○家庭と連携を取り、家庭生活について自分なりに工夫し、活かせる場面を作ります。</p> <p>○夏休みに家庭で調理・手芸・清掃の実習を実施し、自分できることを増やします。</p> <p>○基礎・基本や、安全に関することは、掲示物やカードを用いて繰り返し指導し、定着を図ります。</p>
--	--	--	---